山田うん Un YAMADA

日本を代表するコンテンポラリーダンスカンパニー Co.山田うん（2002年設立）主宰。カンパニーには国内トップクラスの気鋭ダンサー十数人が所属し、ステージパフォーマンスやミュージックビデオ、また学校や施設でのワークショップや地域密着型活動、子ども向けの演目や芸術性の高いダンス作品など、ニーズに合わせた様々なアウトプットを生み出している。近年は東京五輪2020閉会式をはじめ、ダンサー、振付家としての発想を活かした演出を手掛けることも数多い。

Photo:Hal Kuzuya

所属カンパニー　Co.山田うん
ホームページ　https://www.unyamada-co.com

活動歴・受賞歴

○活動歴
〈2019年〉「話のない物語」三都市ツアー（松本～仙台～北上）
〈2019年〉欧州最大音楽祭シゲトフェスティバル招聘公演（ブダペスト）
〈2020年〉「NIPPON CHA!・CHA!・CHA!」演劇版・ダンス版　演出＆振付
〈2020年〉「コスモス」映像版・舞台版　演出＆振付＆美術
〈2021年〉東京五輪2020閉会式 Director of choreography
〈2021年〉国立劇場特別企画「二つの小宇宙」で声明の会と共演
〈2021年〉新国立劇場ダンス　子供向け演目「オパケッタ」
〈2022年〉「春の祭典」山田うんソロダンス× ピアノ連弾（高橋悠治×青柳いづみこ）
〈2022年〉「In C」令和4年度（第77回）文化庁芸術祭 舞踊部門 関東参加の部 優秀賞

ワークショップ歴

〈2005年〉地域創造「公共ホール現代ダンス活性化事業」登録アーティスト開始
〈2009年～現在継続〉東京都東村山福祉園「希望の郷」にてカンパニー WS
〈2012年～現在継続〉北上市文化交流センターさくらホールにて月一WS「キッザート」（講師　山田うん、川合ロン）
〈2017年〉文化庁文化交流使として、11カ国23都市でワークショップを行う
・ジョージア国立バレエ団
・IAMAS舞台芸術情報学院（アルジェリア）
・コロンボ芸術大学（スリランカ）
・ハワイ大学
・タリン大学（エストニア）など
〈2021年〉高校生のためのダンスワークショップ（神奈川県青少年センター）

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ・公募ワークショップ共通

未就学児、小学生、中学生、高校生、大学生、親子、障がい者、高齢者、などといったあらゆる人を対象にしたワークショップ、またプロを目指すダンサーやバレエ教室などへのワークショップ、オフラインでもオンラインでも可能です。

◎実施条件（共通）
▶参加者数:10～50名 ▶アシスタント:１～3名
▶必要機材:iPod出力可能な音響機材、広さによってはワイヤレスマイク

例❶学校でのワークショップ

運動や体育が苦手な人、表現が苦手な人でも楽しめる簡単な動きをまねてもらうことから始めます。少しずつレベルや体力に合わせて色々なスタイルの踊りを体験してもらいます。最後には自由に体を動かす、踊る喜びを通して心身を解放させます。

例❷一般市民参加ワークショップ

コロナ禍で運動不足になった人、人との交流が薄れてしまった人、広々と換気のいいところで体を動かします。ノリのいい音楽に合わせて簡単なステップや体操を通して、「楽しい時間」を味わってもらいます。踊る楽しさを通して、ストレス発散と生きる喜びの時間を作ります。

例❸ダンサーワークショップ

表現をより追求したい子供や大人を対象にしたワークショップです。参加者一人一人の個性やセンスに合わせてそれぞれに合ったダンススタイルを考え、小さな作品を創作し、発表します。

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

❶『山田うんソロライヴ』
▶上演時間:20-45分
ユーモラスな即興スタイルをメインとした山田うんのソロダンスとトークで構成する和やかな時間。

❷『山田うんソロ×音楽家とのセッション』
▶上演時間:20-45分
音楽家とのコラボレーションで作る即興的なダンスと創作のソロダンス。

市民参加作品

❸『市民作品』
▶上演時間:15～30分
老若男女、経験不問のワークショップ参加者による上演時間20-45分。3日間～6日間のワークショップで内容を組み立てて稽古をします。

❹『公開ワークショップ』
▶上演時間:10分-20分
「市民作品創作」となるとハードルが高すぎる、または全日程参加できる人が少ない、という場合において、事前の綿密な稽古をしなくても成立する「まるで発表会のような公開ワークショッ プ」を行うことができます。

◎実施条件
▶同行スタッフ:音響、照明（応相談）
▶現地スタッフ:舞台監督（応相談）
▶アシスタント:ダンサー数名
▶会場の広さ:およそ5間×5間
▶床:リノリウム（色は何色でも可能）